

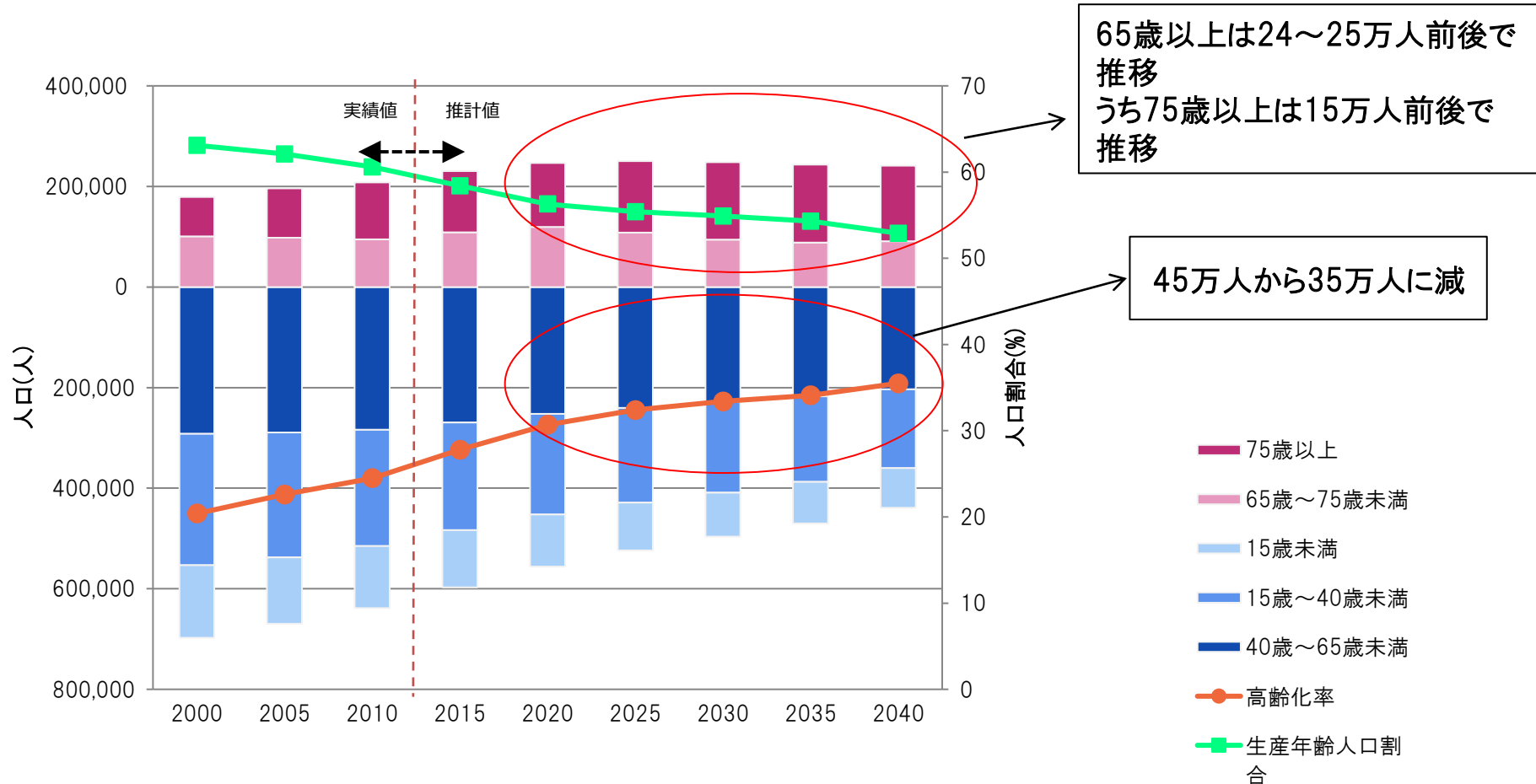
佐賀県の地域医療構想について

佐賀県健康福祉部医務課

平成31年4月



佐賀県の人口構造の変化



(出典) 2000年～2010年まで：総務省「国勢調査」

2015年以降：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25（2013）年3月推計）」

佐賀県の人口構造の変化

- 65歳以上人口は、北部、西部、南部では2025年以降減少局面、中部、東部は微増・横ばい傾向が2040年まで続く。
- 75歳以上人口は、2035年がピークで、その後中部・東部は横ばい、他の圏域は減少に入る。
- 人口の推移としては、「中部と東部」「北部と西部と南部」が同じ傾向を持っている。

		2015年(H27) 国勢調査		2020年(H32)			2025年(H37)			2030年(H42)			2035年		2040年	
		人数	構成	人数	構成	増減率 (対H27)	人数	構成	増減率 (対H27)	人数	構成	増減率 (対H27)	人数	構成	人数	構成
佐賀県	総人口	832,832		802,816		▲ 3.6	774,676		▲ 7.0	744,863		▲ 10.6	713,583		680,203	
	15～64歳	483,019	58.0	452,194	56.3	▲ 6.4	428,978	55.4	▲ 11.2	408,882	54.9	▲ 15.3	387,221	54.3	359,881	52.9
	65歳以上	229,335	27.5	246,683	30.7	7.6	250,735	32.4	9.3	248,483	33.4	8.3	243,633	34.1	241,548	35.5
	うち75歳以上	120,241	14.4	127,113	15.8	5.7	142,515	18.4	18.5	153,887	20.7	28.0	155,222	21.8	150,639	22.1
中部	総人口	348,633		335,466		▲ 3.8	324,222		▲ 7.0	312,096		▲ 10.5	299,063		284,969	
	15～64歳	206,702	59.3	193,792	57.8	▲ 6.2	184,176	56.8	▲ 10.9	174,988	56.1	▲ 15.3	164,543	55.0	151,979	53.3
	65歳以上	91,083	26.1	99,047	29.5	8.7	101,232	31.2	11.1	101,526	32.5	11.5	101,040	33.8	101,334	35.6
	うち75歳以上	46,861	13.4	50,947	15.2	8.7	57,474	17.7	22.6	62,196	19.9	32.7	62,965	21.1	62,028	21.8
東部	総人口	124,964		122,731		▲ 1.8	121,484		▲ 2.8	119,634		▲ 4.3	117,350		114,679	
	15～64歳	74,308	59.5	70,744	57.6	▲ 4.8	69,591	57.3	▲ 6.3	68,575	57.3	▲ 7.7	66,552	56.7	62,817	54.8
	65歳以上	31,461	25.2	34,611	28.2	10.0	35,609	29.3	13.2	35,740	29.9	13.6	35,993	30.7	37,356	32.6
	うち75歳以上	15,253	12.2	17,412	14.2	14.2	20,628	17.0	35.2	22,428	18.7	47.0	22,550	19.2	22,042	19.2
北部	総人口	128,687		122,899		▲ 4.5	117,309		▲ 8.8	111,612		▲ 13.3	105,836		99,832	
	15～64歳	72,454	56.3	67,224	54.7	▲ 7.2	62,831	53.6	▲ 13.3	59,352	53.2	▲ 18.1	56,222	53.1	51,978	52.1
	65歳以上	37,501	29.1	39,651	32.3	5.7	39,943	34.0	6.5	38,924	34.9	3.8	37,064	35.0	35,951	36.0
	うち75歳以上	20,033	15.6	20,249	16.5	1.1	22,430	19.1	12.0	24,102	21.6	20.3	24,174	22.8	22,964	23.0
西部	総人口	75,386		73,009		▲ 3.2	70,170		▲ 6.9	67,220		▲ 10.8	64,206		61,037	
	15～64歳	42,280	56.1	39,652	54.3	▲ 6.2	37,325	53.2	▲ 11.7	35,680	53.1	▲ 15.6	34,091	53.1	32,055	52.5
	65歳以上	22,129	29.4	23,603	32.3	6.7	23,900	34.1	8.0	23,239	34.6	5.0	22,235	34.6	21,459	35.2
	うち75歳以上	11,875	15.8	12,112	16.6	2.0	13,407	19.1	12.9	14,510	21.6	22.2	14,630	22.8	13,834	22.7
南部	総人口	155,162		148,711		▲ 4.2	141,491		▲ 8.8	134,301		▲ 13.4	127,128		119,686	
	15～64歳	87,275	56.2	18,158	12.2	▲ 79.2	75,055	53.0	▲ 14.0	70,287	52.3	▲ 19.5	65,813	51.8	61,052	51.0
	65歳以上	47,161	30.4	80,782	54.3	71.3	50,051	35.4	6.1	49,054	36.5	4.0	47,301	37.2	45,448	38.0
	うち75歳以上	26,219	16.9	49,771	33.5	89.8	28,576	20.2	9.0	30,651	22.8	16.9	30,903	24.3	29,771	24.9

病床数の推移

- 平成28年度報告から、全病床を高度急性期とした病院が、高度急性期と急性期に区分したことから、高度急性期が減、急性期が増（高度急性期と急性期の合算は、減少傾向）。
- 平成26年度と比較すると、慢性期の減、回復期の増という必要病床数に向けた収れん方向にある。

	医療機能	病床機能報告(注)				必要病床数
		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	
佐賀県 全体	高度急性期	674	558	199	207	697
	急性期	5,752	5,617	5,803	5,745	2,638
	回復期	1,213	1,639	1,761	1,753	3,099
	慢性期	4,731	4,680	4,615	4,670	2,644
	合計	12,370	12,494	12,378	12,375	9,078
中部	高度急性期	187	103	106	124	372
	急性期	2,730	2,805	2,707	2,652	1,168
	回復期	437	806	776	797	1,430
	慢性期	1,532	1,391	1,422	1,505	855
	小計	4,886	5,105	5,011	5,078	3,825
東部	高度急性期			8	8	31
	急性期	557	450	433	446	286
	回復期	173	233	278	247	472
	慢性期	1,025	1,106	1,035	1,046	559
	小計	1,755	1,789	1,754	1,747	1,348

	医療機能	病床機能報告(注)				必要病床数
		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	
北部	高度急性期	15	15	15	16	101
	急性期	784	755	758	759	378
	回復期	238	204	238	273	269
	慢性期	683	697	679	679	437
	小計	1,720	1,671	1,690	1,727	1,185
西部	高度急性期	6			6	32
	急性期	546	520	498	517	171
	回復期	158	158	158	156	244
	慢性期	514	467	464	459	272
	小計	1,224	1,145	1,120	1,138	719
南部	高度急性期	466	440	70	53	161
	急性期	1,135	1,087	1,407	1,371	635
	回復期	207	238	311	280	684
	慢性期	977	1,019	1,015	981	521
	小計	2,785	2,784	2,803	2,685	2,001

(注)平成27年、平成28年は、報告医療機関＋未報告医療機関のうち入院基本料から病床機能を推計できるものを加味
 平成29年は、報告医療機関＋未報告医療機関のうち過去の病床機能報告や99さがネット情報、診療科目から病床機能を推計できるものを加味

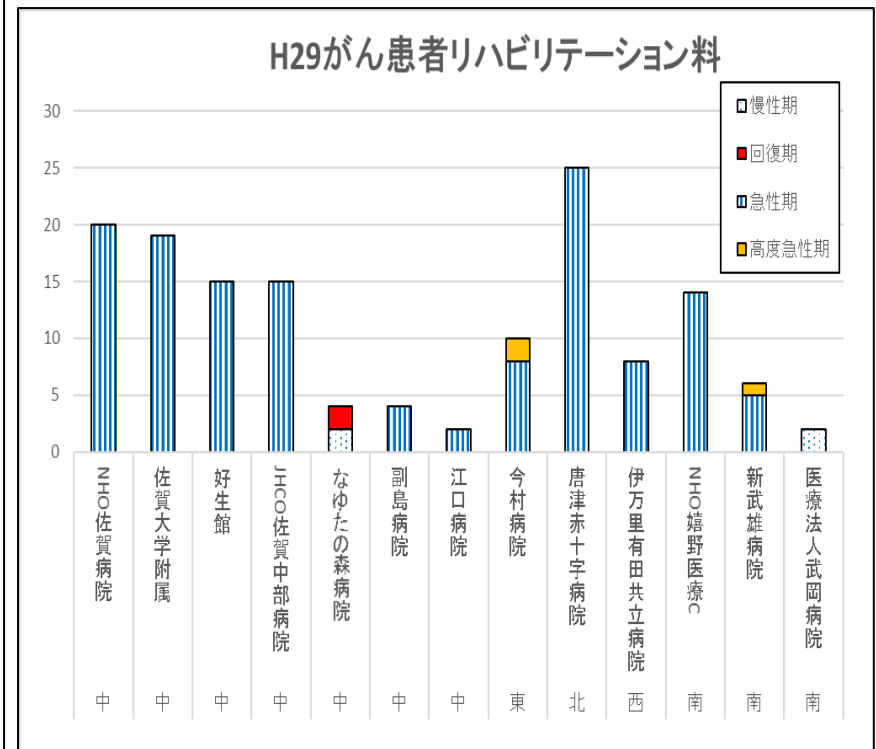
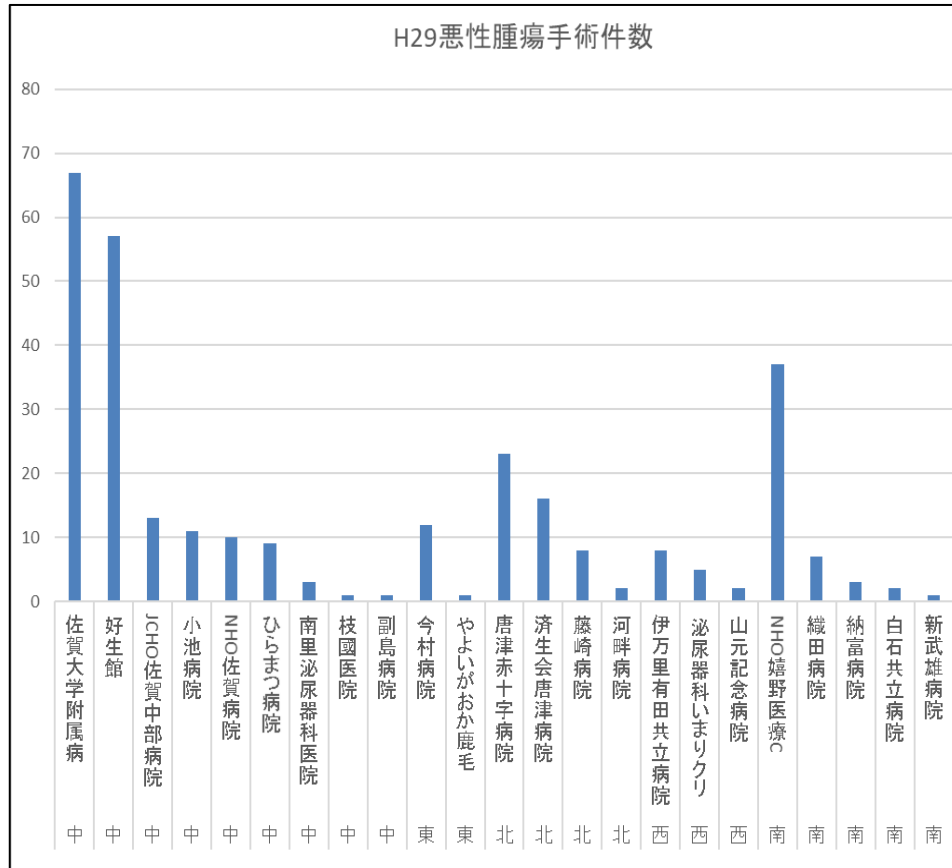
「回復期」の充足度を判断する際の病床機能報告の活用：佐賀県⑤

まとめ

医療圏	必要病床数 (A)	①H29病床 機能報告等	②地域包括 ケア入院管 理料算定病 床数	③分科会 協議済み 病床数	④(①+②+ ③) (B)	B/A	【参考】 平均在棟 日数22日 超の病棟 の病床数
中部	1,430	797	79	69	945	66.1%	338
東部	472	247	20	—	267	56.6%	102
北部	269	273	23	—	296	110.0%	36
西部	244	156	—	40	196	80.3%	98
南部	684	280	34	12	326	47.7%	256
県計	3,099	1,753	156	121	2,030	65.5%	830

参考:急性期病棟におけるリハビリテーション(例:H29.6 がん)

- 悪性腫瘍手術は、がん連携拠点病院である佐賀大学附属、好生館、NHO嬉野、唐津赤十字が件数の上位にあるが、それ以外の医療機関においても、一定の件数があることがうかがえる。
- リハビリテーションについても、がんの診療体制が整っている医療機関で急性期段階からの早期リハが提供されている。



病床機能報告事務局が整理した「病床機能報告集計ツール」を基に作成

非稼働病棟の現状

※非稼働病棟とは、過去1年間に入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟を言う。なお、有床診療所においては、病棟の概念が無いため、施設全体を病棟とみなす。

- 病院のうち、非稼働病棟は、2つ(NHO東佐賀、JCHO伊万里松浦)
- 有床診療所のうち、非稼働病棟は、34つ(そのうち公立は、三瀬診療所、脊振診療所)
- 非稼働病床全体では、809床(許可病床数の約7.1%)

	病院			有床診療所		
	許可病床	非稼働病棟	左欄の病床数	許可病床	非稼働病棟	左欄の病床数
中部	4,387	-	-	919	14 (2)	197 (17)
東部	1,598	1 (1)	55 (55)	263	3 -	51 -
北部	1,480	-	-	352	9 -	115 -
西部	960	1 (1)	18 (18)	256	3 -	50 -
南部	2,278	-	-	589	5 -	66 -
	10,703	2 (2)	73 (73)	2,379	34 (2)	479 (17)

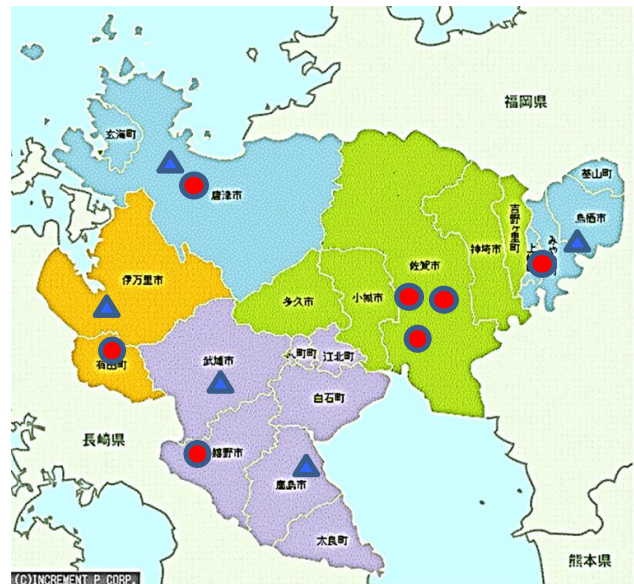
※非稼働のカッコ書きは、公立又は公的医療機関
 ※許可病床数は、H29.7時点

佐賀県の医療の特徴①

- **75歳以上人口のピークは、2035年**。5圏域中、3圏域（北部・西部・南部）は人口減少が顕著。
- 医療機関数、病床数、スタッフ数などは全国水準を上回る（=not需給充足）が、**1病院あたりの規模が小さい**。
- **中核病院（大学、県、日赤、NHO）が県庁所在市に集中していない**ことから、医療圏単位で地域連携がある程度構築。
- **3次救急へのアクセスが良く、救急は3次に集中**（3次搬送率33%、SCR3次124.2・2次69.1）
※ただし、**3次救急も余力があるところばかりではない**。
- **医療法人が介護保険事業、有料老人ホーム等の施設事業に積極的に参入しており、介護に理解がある医療経営者が多い**。

人口10万人当たり		佐賀県	全国
機関	病院	12.9	6.7
	一般診療所	83.5	80.0
病院	一般病床	771.9	702.3
	療養病床	522.0	258.5
	精神病床	510.0	263.3
有床診療所病床		291.5	81.5
医師数		276.7	240.1
看護職員数		1,718.9	1,055.2
理学療法士数		117.6	60.6
作業療法士数		65.9	33.1

構想区域	人口 (千人)	市町村 数	報告 対象 病院 数	報告対象有床診療所			報告対象有床診療所
				公立 病院	公的 医療 機関 等	その他	
中部圏域	349	5	34	4	4	26	58
東部圏域	125	4	12		1	11	17
北部圏域	129	2	15	1	2	12	22
西部圏域	75	2	9	1	1	7	15
南部圏域	155	7	23	1	1	21	39
県計	833	20	93	7	9	77	151



● 特定機能病院・地域医療支援病院
▲ 社会医療法人、救急受入1,000台以上

1病院あたりの一般病床数	
全国	104.8
佐賀	59.8

公立・公的病院／全病院	
病院数	17.2%
病床数	33.4%

佐賀県の医療の特徴②

- 人口10万人当たりの病院数・有床診療所数は、全国に比べて多い。
 - ・病院数 … 全国 6.7、佐賀県 12.9
 - ・有床診療所数 … 全国 6.0、佐賀県 19.6
- 病床に占める有床診療所・精神病床・療養病床のウェイトが大きい。
 - ・病床の病院と有床診療所の割合 … 全国 93.8:6.2、佐賀県 86.1:13.9
 - ・精神病床・療養病床の割合 … 全国 21.4:21:0、佐賀県28.2:28.8
 - 結果、一般病床のウェイトが小さい。
- 1床当たりの人口が少ない。病院の1施設当たりの人口が少ない。
 - ・全国 76人/床、佐賀県 48人/床
 - ・全国 15.0千人/病院、佐賀県 7.7千人/病院
- 病床数は多い。
 - ・全体 全国 1,311.3床/10万人、佐賀県 2,101.9床/10万人
 - ・病院 全国 1,229.8床/10万人、佐賀県 1,810.4床/10万人
 - ・診療所 全国 81.5床/10万人、佐賀県 291.5床/10万人

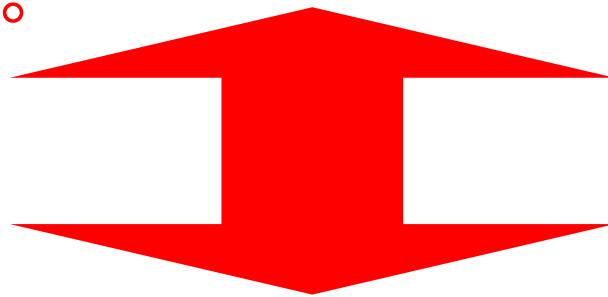
佐賀県の医療の特徴③

●医療スタッフの数はある程度充実している。

- ・医師 全国 251.7人/10万人、佐賀県 287.1人/10万人
- ・看護師 全国 905.5人/10万人、佐賀県 1,277.7人/10万人
- ・准看護師 全国 254.6人/10万人、佐賀県 574.3人/10万人

まとめ

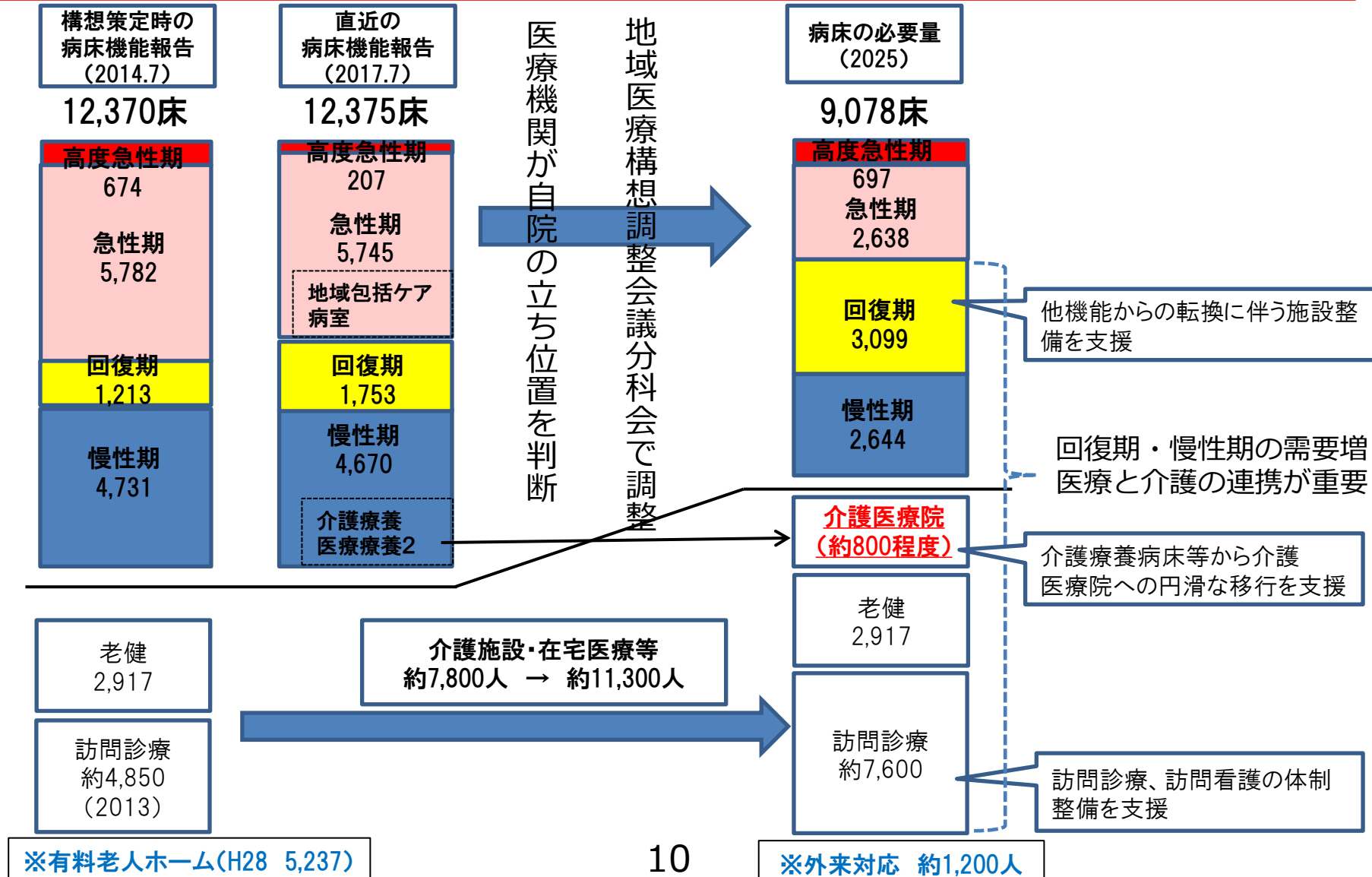
★県民にとっては、医療提供体制が充実しており、暮らしやすい。



★医療経営者としては、規模も小さくなく、かつ競合する者が多い。

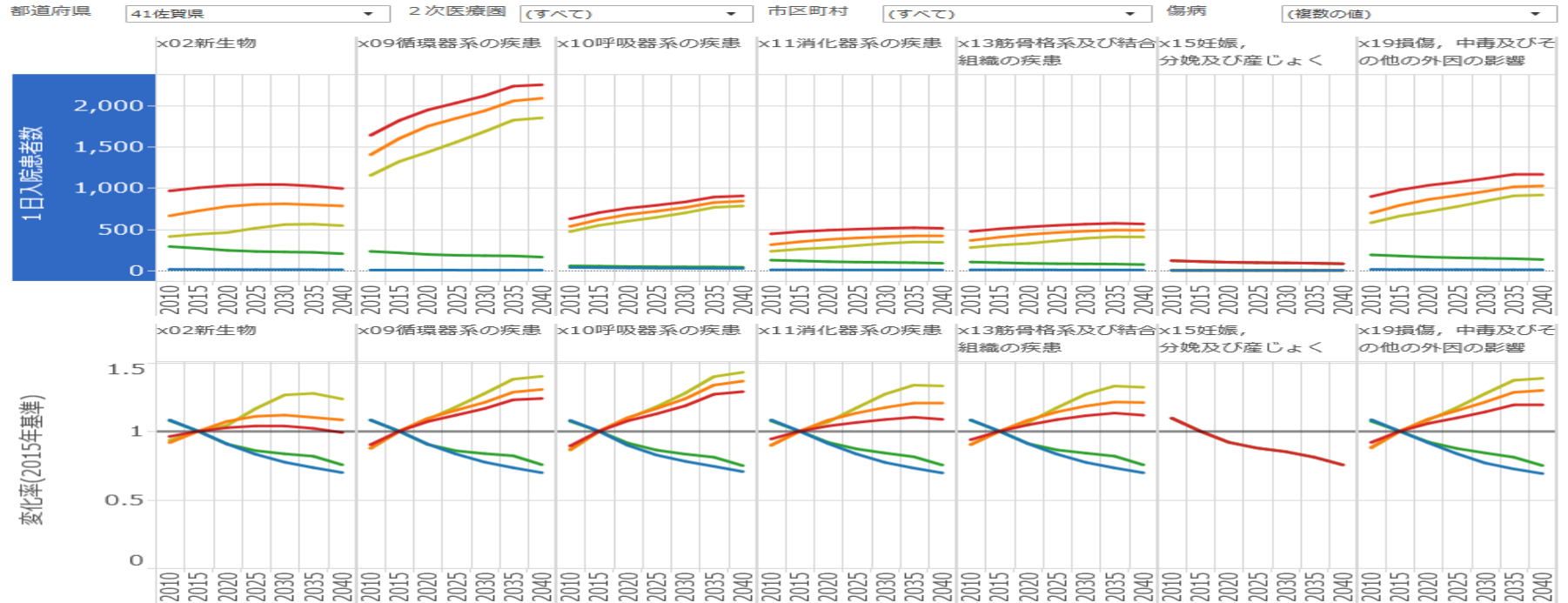
佐賀県地域医療構想の必要病床のイメージ(平成29年病床機能報告反映後)

- 佐賀県地域医療構想で、人口構造の変化とNDBデータ等から将来の医療需要を見通し、必要病床数を推計。
- 2025年における「効率的で質の高い医療提供体制」に向けて、急性期等から回復期への病床機能の転換、「介護医療院」を含む在宅医療等の基盤整備を、地域医療構想調整会議等で合意形成を図り、推進
- 「病院完結型」から「地域完結型」に向け、医療・介護の連携、必要となる人材確保などに取り組む。



平成28年患者調査を基にした疾患分野別の入院需要推計

- 新生物は概ね横ばいであるが、循環器系、呼吸器系、損傷その他外因は、2040年まで伸び続ける。
- 2015年から2040年の伸び率を圏域別にみると、中部・東部の伸び率が高く、北部・西部・南部の伸び率が低い。

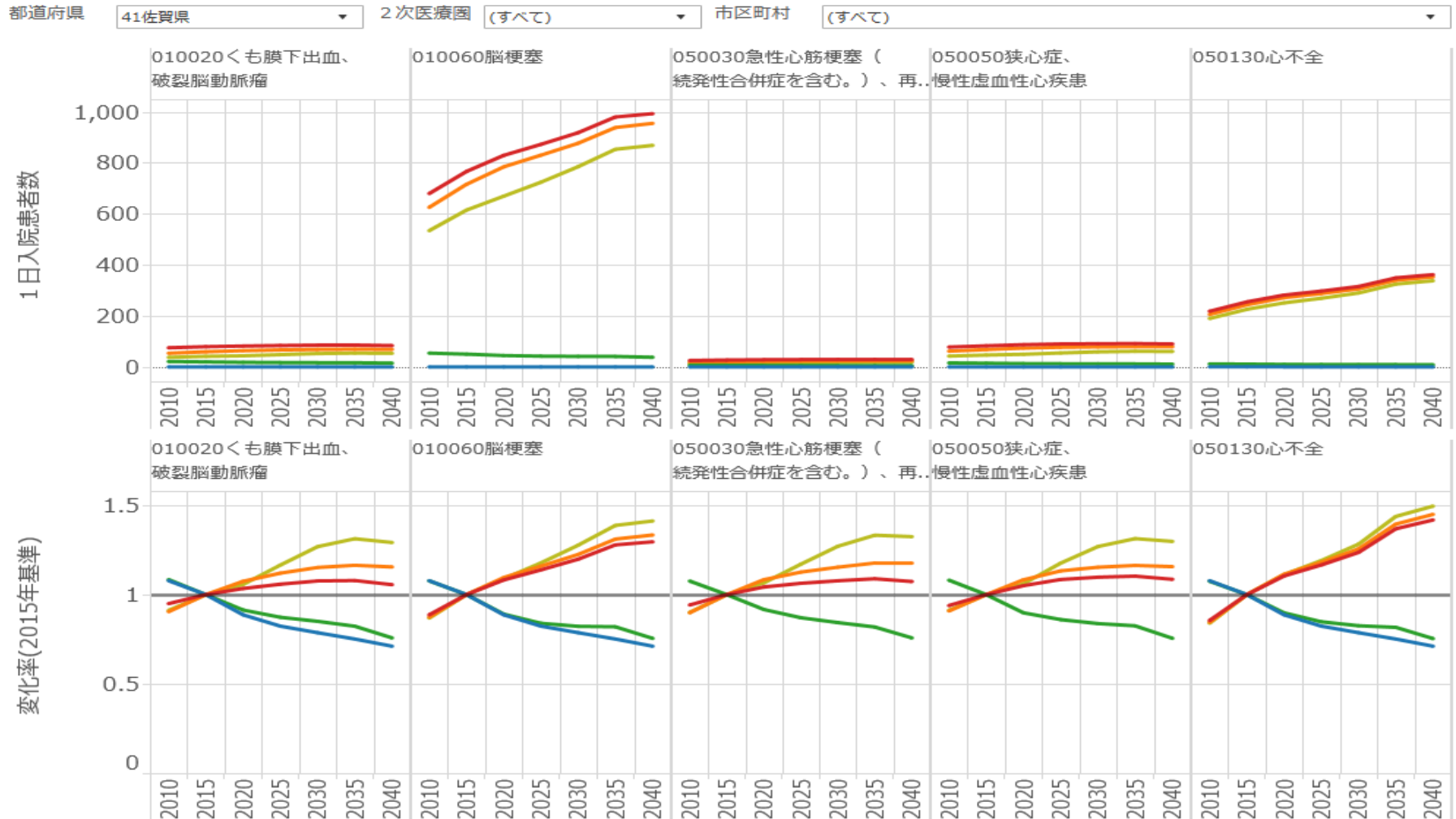


H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

2015→2040	新生物	循環器	呼吸器	消化器	筋骨格	妊娠	損傷
県	0.99	1.23	1.28	1.08	1.11	0.75	1.19
中部	1.02	1.29	1.33	1.12	1.15	0.71	1.23
東部	1.12	1.44	1.49	1.23	1.26	0.83	1.37
北部	0.91	1.14	1.20	1.01	1.03	0.75	1.10
西部	0.93	1.16	1.21	1.04	1.06	0.77	1.12
南部	0.91	1.12	1.17	1.00	1.02	0.68	1.08

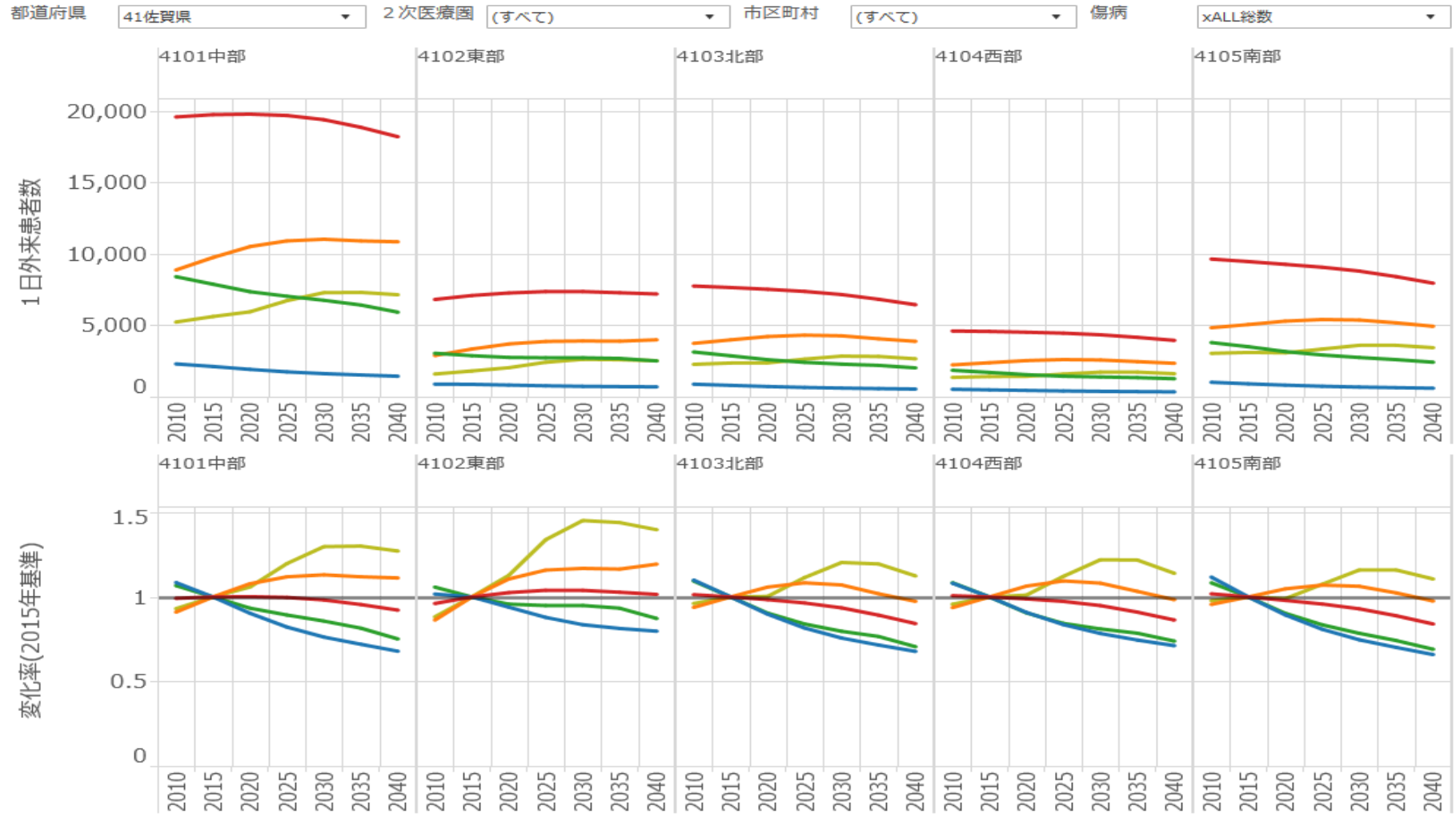
平成28年患者調査を基にした循環器系疾患の入院需要推計

- 循環器系疾患全体は2040年まで伸びるが、脳梗塞、心不全の患者数が多い。
- 75歳以上の人口の伸びに呼応していること、脳卒中が介護の原因第1位であること、心疾患は再入院率が高いことなどから、両疾患の医療提供体制の構築にあたり、脳卒中においては、一貫した流れでのリハビリ、介護サービスとの連携、心疾患においては、基幹病院とかかりつけ医との連携体制の充実が重要。



平成28年患者調査を基にした外来患者の需要推計

- 外来患者数は、北部、西部、南部ではすでに減少傾向に入っていることが見込まれる。
- 75歳以上の外来患者数も、全圏域ともに2030～2035年がピークと見込まれる。



各医療機関に策定・提出いただいた対応方針等の取りまとめ結果

2025年に向けた病床機能の充足見込み（対応方針等集計結果）

	中部					
	現在			2025年		
	病院	診療所	計	病院	診療所	計
高度急性期	116	0	116	249	0	249
急性期	2,233	416	2,649	1,924	403	2,327
回復期	511	228	739	840	210	1,050
慢性期	1,440	59	1,499	1,188	66	1,254
休床中	35	121	156	0	88	88
不明	0	41	41	0	41	41
計	4,335	865	5,200	4,201	808	5,009
	東部					
	現在			2025年		
	病院	診療所	計	病院	診療所	計
高度急性期	8	0	8	24	0	24
急性期	309	99	408	310	58	368
回復期	355	21	376	355	25	380
慢性期	871	76	947	854	57	911
休床中	0	59	59	0	40	40
不明	0	13	13	0	32	32
計	1,543	268	1,811	1,543	212	1,755
	北部					
	現在			2025年		
	病院	診療所	計	病院	診療所	計
高度急性期	16	0	16	58	0	58
急性期	675	81	756	603	68	671
回復期	178	75	253	200	62	262
慢性期	610	23	633	471	33	504
休床中	0	67	67	0	51	51
不明	0	53	53	20	38	58
計	1,479	299	1,778	1,352	252	1,604

	西部					
	現在			2025年		
	病院	診療所	計	病院	診療所	計
高度急性期	0	6	6	0	6	6
急性期	399	110	509	304	90	394
回復期	161	33	194	258	44	302
慢性期	382	35	417	194	20	214
休床中	18	45	63	0	26	26
不明	0	15	15	0	15	15
計	960	244	1,204	756	201	957
	南部					
	現在			2025年		
	病院	診療所	計	病院	診療所	計
高度急性期	70	0	70	86	0	86
急性期	951	297	1,248	848	264	1,112
回復期	325	119	444	400	87	487
慢性期	806	95	901	742	80	822
休床中	28	56	84	0	20	20
不明	0	0	0	0	0	0
計	2,180	567	2,747	2,076	451	2,527
	計					
	現在			2025年		
	病院	診療所	計	病院	診療所	計
高度急性期	210	6	216	417	6	423
急性期	4,567	1,003	5,570	3,989	883	4,872
回復期	1,530	476	2,006	2,053	428	2,481
慢性期	4,109	288	4,397	3,449	256	3,705
休床中	81	348	429	0	225	225
不明	0	122	122	20	126	146
計	10,497	2,243	12,740	9,928	1,924	11,852

対象医療機関に調査した非稼働病棟の今後の方針の意向調査結果

医療機関施設名	二次医療圏	市町名	一般病床 + 療養病床 (許可病 床)	1. 非稼働病棟の取り扱いの今後の方針					2. 時期			
				具体的な 後継者が いる	適当な 方がい れば譲 りたい	自身で 床を再 開させ たい	非稼働 病棟の 部分現 状維持 は、無 床とし たい	現状維 持した い	2年以 内	2年か ら5年 以内	5年か ら7年 以内	7年以 上
	中部	小計		7	0	2	2	5	1	3	1	3
	東部	小計		1	1	0	0	2	0	1	2	0
	北部	小計		4	0	0	1	1	0	0	0	4
	西部	小計		1	1	0	0	0	0	0	0	1
	南部	小計		0	0	2	3	2	0	2	3	0
	県	合計		13	2	4	6	10	1	6	6	8

介護医療院への転換見込みと在宅医療等対応可能数

- 介護医療院は、2020年までは療養病床からの転換のみを認めることから、2023年以降も転換のみで仮置き
- 在宅医療等（訪問診療）は、介護医療院への転換が増加した場合は、その分、減少。
- 東部医療圏の在宅医療等の伸びが著しい。東部は、在宅医療提供基盤が充実。

	介護医療院（床）			在宅医療等（訪問診療・人分）			在宅医療等の伸び	
	2020年	2023年	2025年	2013年	2020年	2023年	2025年	上段 2013→2020 下段 2013→2023
中部	248	259	259	1,932	2,158	2,620	2,936	+ 11.7% + 35.6%
東部	62	62	62	755	1,038	1,382	1,612	+ 37.5% + 83.0%
北部	67	101	101	890	994	1,132	1,245	+ 11.7% + 27.2%
西部	133	133	133	429	473	608	711	+ 10.3% + 41.7%
南部	277	277	277	841	856	971	1,106	+ 1.8% + 15.5%
県計	787	832	832	4,847	5,519	6,713	7,610	+ 13.9% + 38.5%

うち、病床機能分化・連携に伴う在宅医療等
中部338人、東部226人、北部129人、西部91人、南部99人